



ますかがみ

学校だより 第6号
ひたちなか市立三反田小学校
令和6年9月26日発行
Tel 272-3443 児童数88名

全国学力・学習状況調査

令和6年4月18日に全国の小学校6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われ、三反田小学校も6年生が参加しました。このテストは、国語と算数の他、日頃の生活や学習に関する「児童質問調査」も行われます。夏休み中に結果が出て、すでに新聞等では、全国や茨城県の傾向について報道されていますが、今回は、三反田小学校の傾向についてお知らせします。

<国語>

全国平均正答率と比べて大きく上回っている。

- 特に「話すこと・聞くこと」と「読むこと」に関する問題の正答率が高かった。

具体的な問題概要

- ・オンラインで交流する場面において、話し方を変えた理由として適切なものを選択する。
- ・物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く。



<算数>

全国平均正答率と比べて下回っている。

- 「数と計算」に関する問題の正答率が高かった。

具体的な問題概要

- ・問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ。
- ・ $350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の積の求め方と答えを書く。
- ・ $540 \div 0.6$ を計算する。

- 「図形」に関する問題の正答率が低かった。

具体的な問題概要

- ・作成途中の直方体の見取り図について、辺として正しいものを選ぶ。
- ・円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ。

<対策>

- ・立体の学習では、模型を用意するなど、具体物を使って考えられる場面を増やしていく。

<児童質問調査>

- 「友達関係に満足していますか」の質問で、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っている。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の質問で、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っている。
- 「普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか」の質問で、4時間以上が全国平均を大きく上回っていて、テレビゲーム等の使用時間の長時間化が課題である。

<対策>

- ・学級活動等の時間を活用して、SNSやゲームの長時間使用の弊害について学べる機会をつくっていくとともに、家庭との連携をとりながら、インターネットの使い方の改善を図っていきたい。

